

消費税増税で使用料値上げの80議案

—共産党の2名は反対、他のすべての議員は賛成—



日本共産党
市議会議員団
週刊議会報告
【発行】
魚谷さとる
(0848-22-2810)
岡野長寿
(0845-22-2596)



討論する岡野長寿市議 2月議会

「2月議会」最終日の19日、新年度一般会計予算など109議案の採決が行われました。共産党市議団は、その内の83議案には反対しましたが、他の議員はすべての議案に賛成しました。反対した議案は、一般会計予算、所得の少ない人の保険料を上げようとする後期高齢者医療特別会計予算、公立認定子ども園を民営化する議案と消費税増税にともない使用料や利用料を値上げしようとする80議案です。

一般会計予算 一般会計について討論を行った岡野長寿市議は、一般会計予算は、新年度、市が行う各分野の予算が全て集約された予算であり、そこに計上された予算が全て悪いと言っている。その上で、反対の理由として、本庁舎をはじめとした建設費40億円の予算が計上され、液化化することが明らかな場所に防災拠点として本庁舎を新築することには、大きな問題がある。南側の護岸が地震で崩れれば、北側の道路は液化化で通行不能になり、新庁舎周辺の地盤が海へ流出して、

近づけない。また、電気、水道などのインフラがダメージを受け、防災拠点の役割が果たせなくなるのに、計画通り進める予算になっている。昨年7月に豪雨災害にみまわれ、それを踏まえた予算であるべきなのに、災害の発生を防止する急傾斜地対策事業は、これまでの延長線上にとどまり、災害の発生を無くす姿勢が乏しい。また、他市のように「地元負担金制度」を無くそうとしない。中学校給食は「デリバリー給食」で、生徒の注文率が16%程度と破綻しているにもかかわらず、基本的に改めようとしていないと述べました。

消費税増税による

使用料値上げの議案

消費税増税による使用料などを値上げする80議案について、増税には反対だと述べた上で、値上げによる増収分はわずか660万円で、議案として提出すべきではない。しかも、集めたお金は、国に納めないのなら「便乗値上げ」で、市がそれを行うことにならるので反対だと述べました。

「後期高齢者保険料の値上げには反対」

—岡野長寿市議が予算委員会で—

後期高齢者医療制度 保険料試算 (円)

収入額	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
所得100万円	104,894	104,894	104,192	104,192
所得50万円	30,021	34,596	37,642	37,642
年金80万円超	6,719	6,719	6,825	6,825
年金80万円以下	4,479	4,479	4,550	9,100

3月14日の予算特別委員会で、岡野長寿市議は「最近年金がいつぱんに減った。保険料が上がるとんじやないか」と相談を受けた事例を紹介し、事前に準備した上の表を示しながら、「社会保障充実のため消費税増税をしないと、言いながら、社会保障は負担増になっているではないか」と国の制度を批判するとともに、「市として負担増にならないように対応すべき」と求めました。担当課長は、「平成29年度、平成30年度と所得金額50万円の間が値上げになったのは所得割軽減措置5割が2割に、続いて軽減自体が廃止されたことによるもの」「所得0円で年金所得しかない階層の値上げは均等割り値上げと9割軽減が8割軽減になったことによる」と説明。岡野市議は「最も年金が少ない階層が9,100円と2倍に値上げされ、逆転現象が起こっている。制度設計としておかしく、改善すべき」と迫りました。

「消費税増税の時期の延期を」と「国民健康保険へ国費一兆円投入」

—共産党提出の意見書を否決—

共産党市議団は、安倍自公政権が行おうとしている消費税増税の時期を延期するよう求める意見書と、国民健康保険へ国費を1兆円投入するよう求める意見書を「2月議会」へ提出していました。

いずれも国の政治の大きな問題で、一斉地方選挙とその後行われる参議院選挙の争点になっていきます。

議会運営委員会での態度

意見書	賛成	反対
消費税増税 時期の延期	岡野長(共産党) 城間(市民連合) 杉原(未来クラブ)	田頭(創生会) 二宮(平成会) 荒川(公明党) 佐藤(誠友会)
国保への 1兆円投入	岡野長(共産党) 城間(市民連合) 杉原(未来クラブ)	田頭(創生会) 二宮(平成会) 荒川(公明党) 佐藤(誠友会)